

秦支店地区において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月8日

熊谷市長 富岡



記

1. 会合の対象とした区域

秦支店

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月6日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

| | |
|------------|-------|
| 法人 | 3経営体 |
| 個人 | 28経営体 |
| 集落営農（任意組織） | 1組織 |
| 合計 | 32経営体 |

○ 農地の集積面積

74.4ha（区域内の農地面積317.4ha、集積率23.4%）

4. 今後の地域農業の在り方

秦地区は、地元以外の農家が耕作している所もあり、荒れた土地は少ない。

秦北部の田はばらつきがあり、耕作放棄地は多くはないが所々、点在している。

秦北西部は足利市など、他の地域からの担い手と50代の若手で県道西側を耕作している。県道東側は80代の農業者がおり、まとまれば耕作する人がいる。

利根川沿いは70代の農業者で、その後の耕作者の確保が課題である。

水田は、秦南部と同様に担い手会議を開き、近年中に農地中間管理事業を実施したい。俵瀬の水田は担い手が少ない。

秦南部の水田は、4区画で基盤整備を実施したい。

利根川沿いの畑は今のうちに大きなほ場にしておき、借り手がつくようにする。また、農業委員・最適化推進委員により、貸し出したい農地を把握しておく。畑は、使用貸借が多いので、農地中間管理事業を実施し、賃借料を約1,000円～2,000円とし、外部からの企業が高額な賃借料で参入する前に実施したい。